

神奈川県肝炎対策推進計画（改定素案）のパブリックコメントに係る「県の考え方」

■ 期間：平成29年12月20日（水）～平成30年1月21日（日）

＜内容区分＞

- ア 計画改定の趣旨、基本理念等
- イ 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発
- ウ 肝炎ウイルス検査の受検の促進
- エ 肝炎医療を提供する体制の確保
- オ 肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成
- カ 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実

＜反映区分＞

- A 改定(案)に反映するもの(一部反映を含む)
- B 新たな計画案には反映していませんが、ご意見のあった施策等は既に取り組んでいるもの
- C 今後の取組みの参考にするもの
- D 反映できないもの
- E その他(感想や質問等)

受付番号	内容区分	意見の概要	意見反映区分	県の考え方
1	オ	コーディネーターが具体的にどのような役割を担うのか明記すること (同一意見26件)	A	「地域や職域における肝炎ウイルス検査の受検勧奨や陽性者フォローアップ等を行う人材として」と明記しております。
2	オ	県の健康関連施設及び県内市町村にコーディネーターを配置すること (同一意見24件)	A	肝疾患コーディネーターについては、肝臓専門医のいない医療機関・薬局・職域・行政などに配置する旨を記載しました。
3	オ	コーディネーターが必要な情報を取得・共有するための継続的な研修を実施すること (同一意見24件)	A	肝疾患コーディネーター認定後も質を維持できるような仕組みづくりを行う旨記載しました。

受付番号	内容区分	意見の概要	意見反映区分	県の考え方
4	オ	コーディネーター同士の情報交換や連携のためメーリングリストなどの手段を確保すること (同一意見24件)	A	肝疾患コーディネーター認定後も質を維持できるような仕組みづくりを行う旨記載しました。
5	オ	特に職域にコーディネーターを配置する場合には職場での差別助長することがないように特に配慮すること (同一意見24件)	C	これまでの職域の健康づくり担当者へのセミナー等を通じて、差別助長することがないように法令遵守の周知等を実施してきました。今後、肝疾患コーディネーターの養成・配置においても、この点について十分配慮してまいります。
6	エ	拠点病院と地元医師会との共同の研修会を定期的を開催すること (同一意見24件)	A	研修会の開催については、「4 肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成」の「医療従事者のスキルアップ」の中に位置付けております。
7	エ	具体的な患者の相互紹介のしくみを提案し実行すること (同一意見24件)	C	今後、望ましい肝疾患診療ネットワークのあり方について検討を行うにあたり、参考にさせていただきます。
8	エ	肝疾患治療に関する医療機関同士の連絡情報手段（定期的会議、メーリングリスト等）を設けること (同一意見24件)	C	今後、望ましい肝疾患診療ネットワークのあり方について検討を行うにあたり、参考にさせていただきます。

受付番号	内容区分	意見の概要	意見反映区分	県の考え方
9	カ	，患者に対して，適切なアドバイスができる窓口（医療機関，行政，患者会，コーディネーターなど）を周知することを明記すべき （同一意見24件）	A	相談窓口への案内については、「5 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実」の「相談支援」の中に位置付けております。
10	オ	患者に対する適切なアドバイスができる窓口の継続的な運営が可能となる具体的支援を行うことを明記すべき （同一意見24件）	A	「5 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実」の「相談支援」の中に位置付けております。
11	カ	がん対策との連携による効果を実効的にするため，肝がん患者，肝硬変患者の治療に対する神奈川県独自の助成など経済的支援を具体的に盛り込むべき （同一意見24件）	C	肝がん患者や肝硬変患者の治療に対する助成制度については，国の補助金を活用して平成30年度中に開始する方向で検討しており，予算計上も行っています。当該制度が円滑に進められるよう，制度の周知と適正な実施について注力してまいります。
12	イ	肝炎認知度向上の目標値ではなく県内全市町村からの普及啓発を進める具体的施策の報告を求めている。	C	市町村からの具体的な施策の報告については，計画の進行管理を行う中で行ってまいります。その上で，肝炎の認知度の向上を客観的に図る目標値を設定しております。
13	ウ	ウイルス検査の報告を全市町村から求めその数値から目標値を決める様にして欲しい	D	引き続き，肝炎ウイルス検査については，すべての県民が少なくとも1回は受検するように取り組んでまいります。実際に受検していない方の数が正確に把握できない状況において，市町村からの報告のみで数値による目標を設定することは困難と考えております。

受付番号	内容区分	意見の概要	意見反映区分	県の考え方
14	オ	コーディネーター養成では何をしてもらうのか、実行するために何が必要かそれらから必要人数目標値など具体化が必要	C	肝炎ウイルス検査の受検促進、陽性者フォローアップや肝炎に関する理解促進を進めるには、地域や職域で県民や事業者にきめ細かく働きかけることが重要であるため、こうした役割を担う人材として、肝疾患コーディネーターを養成することとし、まずは、肝臓専門医のいない医療機関や薬局などを中心に配置することを目標として設定しました。コーディネーターの具体的な活動内容については、今後コーディネーター養成のための研修内容等を検討する中で整理してまいります。また、目標値については、取組状況や効果等、計画の進行管理を行う中で、必要に応じて見直しを行ってまいります。
15	エ	コーディネーターがどこにどのように配置するのか具体的に書いて下さい。	A	肝疾患コーディネーターについては、肝臓専門医のいない医療機関・薬局・職域・行政などに配置する旨を記載しました。
16	エ	県西の連携が不足しているように見受けられるので、県内全域で同じ環境になるようにしてください。	C	今後、望ましい肝疾患診療ネットワークのあり方について検討を行うにあたり、参考にさせていただきます。
17	カ	患者に対する支援（経済的、精神的ともに）をちゃんと具体的に書いて下さい。「頑張ります」だけでは目標にならないと思います。	A	「5 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実」の施策に具体的な内容を記載しております。

受付番号	内容区分	意見の概要	意見反映区分	県の考え方
18	ク	パブリックコメントに出ている計画の文章が読みにくいので、句読点の位置や漢字・平仮名表記、送り仮名など、統一して読みやすい文章にしてください。	A	ご指摘のとおり修正いたします
19	イ	特定感染症事業→特定感染症検査事業	A	ご指摘のとおり修正します
20	イ	保健所設置市は、政令指定都市、中核市、保健所設置市の総称でしょうか。保健所設置市等との標記がわかりやすいと思います。	A	ご指摘のとおり修正します
21	イ	必要な支援との明記があるが、具体的な支援がわかるとよいと思います。	A	「県ホームページによる広報等」を追加し、意見を計画に反映させます。
22	エ	18ページ上段に、全市町村でフォローアップを行うことを目標にしているため、全市町村数を明示し、達成率が明記された方が、わかりやすいと思います。	A	ご指摘のとおり修正します

受付番号	内容区分	意見の概要	意見反映区分	県の考え方
23	エ	過去の検査陽性者を把握し、受診を働きかけると明記されているが、フォローアップに同意していない方も含まれるのでしょうか。	E	フォローアップに同意していない方は対象外といたします。
24	オ	肝疾患コーディネーター500人を養成し、その後、どのような取り組み予定かを具体的に明記したほうがよいと思います。	C	コーディネーターの具体的な活動内容については、今後コーディネーター養成のための研修内容等を検討する中で整理してまいります。
25	エ	素案21ページ 「検査陽性者フォローアップ」に記載のある「より効果の高い方策について市町村にて検討」する場として担当者会議を開いてほしい。	C	検討にあたっては、市町村担当者との調整が必要と考えますので、担当者会議を開催したいと考えております。
26	イ	知識の普及啓発の中で追加事項として、NAFLD（非アルコール性脂肪性肝障害）やNASH（非アルコール性脂肪肝炎）を合併すると肝硬変や肝細胞癌に進行するスピード・確率が増加するので、食事・飲酒習慣の改善や運動習慣を保つこともウイルス性陽性の人にとって大切といった内容を加えてはどうでしょうか？	C	普及啓発にあたっては、ご指摘の内容を盛り込みながら、効果的な広報について検討してまいります。
27	ウ	実際にどのくらいの肝炎検査が行われているのか衛生研究所への照会やレセプトデータから把握して指標に生かしてほしいです。アンケートでは本人が肝炎検査と認識していない場合は把握不能です。	C	職域における健康診断と併せて実施する肝炎検査実績数についてはレセプト等では把握困難ですが、ご指摘の内容を踏まえて、より良い指標について今後検討してまいります。